

せいただければと思います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 宮本常一さんにつきましては、全国の離島をくまなく回られて、特にこの対馬にもおいでになられて、多くの実績を残されております。私も本を読ませていただいたことがあるんですけども、確かに法ができたから島がよくなるんじゃないかと、それだけ、自分たちのやる気をださせようというこの宮本さんのお気持ちがここに出ているのではないかなということで、よくなるうとするときに法が生きる、やる気があるから、法が生きるというようなことで、自分たちにもう少し積極的に島をよくしていこうという気持ちを高めなさいということじゃないかなと思っております。

○議長（初村 久藏君） 9番、脇本啓喜君。

○議員（9番 脇本 啓喜君） 今回の一般質問にも当たっても、通告の後すぐ答弁を担当する課長等から、その日のうちに電話がありました。前回、ああいうやり取りをして、そういういい方向にお互い進んでいっているんじゃないかと思っています。ただ、まだ担当にもお伝えはしていただけど、私の伝え方が悪かったのかな、通告になかったというふうな感じになっていますので、私のほうでもう少し通告の内容をちょっとどういうふうにかして、通告外だと言われないような形で、しっかり担当課長等にも密に連絡を取って、もっとよりよい一般質問にして、成果が出るようなそういう質問にしていきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、脇本啓喜君の質問が終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開は、14時5分からといたします。

午後1時51分休憩

午後2時03分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き市政一般質問を行います。8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 新政会の船越洋一でございます。さきに通告をしておりました大きくは3点について市長に質問をいたします。

まず1点目ですが、市道久田2号線の道路拡幅について、市長に質問をいたします。

市道久田2号線は、市営柳ノ元団地、久田小学校、久田中学校、巖原自動車教習場、市営プール、石田団地、自衛隊宿舎、海上保安部宿舎さらに一般住宅も数多くあり、朝夕の通学バス、給食センター車両または小中学校の体育祭には、大型バスも出入りする主要道路であります。特に、県道より旧久田幼稚園跡までの道路の道幅が狭く、車の離合もできない状況でありますので、県

道より旧久田幼稚園跡までの間の道路の拡幅ができないかお伺いをいたします。

次に、2点目ですが、万松院入り口の橋の架け替えについてであります。前市長の折、一般質問をした経緯がありますが、再度質問をいたします。

今年10月末には、朝鮮通信史ユネスコ記憶遺産関係の資料を展示する歴史館及び対馬市博物館が来年4月には完成しますが、この地域は金石城址、清水山城址、また、日本三大墓地の一つと言われる宗家墓所と国指定史跡が密集しており、対馬の観光の目玉となる地域だと思えます。

観光バスの駐車場がなく、大変憂慮されておりますが、万松院入り口の橋の架け替えをし、万松院広場をバスの駐車場として活用できるようにしてはどうかと思えますが、市長の考えをお伺いをします。

次に3点目ですが、博物館建設についてであります。この博物館は当初建設を計画した際、維持、管理費が大きく財政を圧迫するという事で、当時の総務文教委員会で否決した経緯がありました。経費の見直し等を行い、着工に至ったわけですが、来年4月に完成の見込みと思えますが、当初と大きく状況が変わっていると思えますが、当初の設計金額と最終的な設計金額と、また維持管理費がどのように変わったかお伺いをいたします。

以上、3点、よろしく申し上げます。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 船越議員の質問にお答えいたします。

初めに、市道久田2号線の道路拡幅についてでございますが、市道久田2号線の現状につきましては、議員御指摘のとおり、小中学校、市営住宅等へのアクセス道路であり、通行に支障をきたしていることを認識しております。本線の一部区間におきましては、歩行者の安全確保のため、歩行者用の張出し歩道を設けておりますが、車両の円滑な通行の解消までには至っていないのが現状でございます。特に主要地方道厳原豆敷美津島線との接合部や旧久田幼稚園付近の狭隘部ににつきましては、車両が歩道に乗り上げたり、片側の車両が停止したりを繰り返して、離合をしている状況でございます。

市道久田2号線は、久田地区の重要な生活路線であると認識しており、改善は必要であるというふうに考えております。現時点で整備への着手時期などは明言することはできませんが、交付金等を利活用することを念頭に改善に向け検討してまいりたいと思っております。

次に、万松院入り口の橋の架け替えについてでございますが、この内容については、平成25年の12月定例会、平成31年の3月定例会でも御質問いただいたところでございまして、この橋の歴史的価値や周辺環境とのマッチングを考慮しながら、万松院はもとより、史跡整備委員会、万松院保存会及び教育委員会と協議しながら、老朽化の進んだこの橋をどうするか相談をしていきたいと回答しておりました。

今回の御質問では、橋を架け替えて万松院前の広場を観光バス駐車場にしてはというような趣旨のようでございますが、現在、万松院周辺において、駐車場用地の購入に向けて、関係者と協議を進めているところでございます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者の方々と直接お目にかかることがかなわず、前進できていない状況でありまして、早期に御理解いただけるよう今後努力してまいりたいと考えております。万松院をはじめ、金石城址、対馬博物館、朝鮮通信史歴史館など、歴史的観光地が集中する、この地域への駐車場の必要性は私も十分に認識しております。今後、速やかに進展できるよう努力してまいります。

最後に、博物館建設事業についてでございますが、平成29年6月27日の全員協議会において、全体事業費34億4,982万3,000円、そのうち、工事費は31億5,000万円でお示ししておりました。建設工事は、博物館ゾーンが1工区です。交流ゾーンが2工区、そして、展示工事の3つに分けて発注し、既に完成した博物館ゾーンは25億1,291万8,000円、展示工事は3億8,426万4,000円が最終の契約額となっております。建設中の交流ゾーンにつきましては、当初契約額は6億3,609万4,000円でしたが、現契約は7億8,007万円となっております。

建設事業については、設定した継続費の範囲内で進めており、現在の継続費の総額は40億5,793万5,000円、うち博物館本体の工事請負費は36億8,025万2,000円となっております。当初から比較いたしますと、工事請負費で約5億3,000万円の増となっておりますが、その主な原因は、人件費や建設資材のオリンピック需要増による資材単価の増等の上昇を受けての事業費の見直しや2工区での旧歴史民俗資料館解体工事におけるアスベスト除去工事の追加、工期延長による諸経費の増等でございます。

維持管理費については、平成29年12月12日の全員協議会では、施設維持費として、約5,900万円をお示ししておりました。令和2年度の実績は、博物館ゾーンのみとなりますが、約2,700万円、令和3年度は空調機のフィルターの交換などを予定しているため、約4,700万円を見込んでおります。開館する4年度以降については、今後完成する交流ゾーンを含めて、現在算定をしている段階であります。

維持管理に係る県の負担金につきましては、令和2年度実績としては、約990万円で、全体の36.6%の負担をいただいております。令和3年度は約1,700万程度を見込んでおりますが、交流ゾーン完成後の県の負担割合は、30.1%を予定しております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） まず1点目の久田2号線の道路拡幅についてでありますけども、今、市長のところに地図をお渡しをしていると思いますが、久田2号線はお船江入り口から市河

川の新川の横をずっと通って奥まで行くんです。柳ノ元団地、ここはちょっと広いんですよ。ここに久田小学校線、それから久田中学校線、それから久田1号線、それから白子8号線の車というのがここに全部集中するわけです。そうしますと、この道路というのは4メートルしかないんです。特に、この県道から入り口のところに郵便局があります。郵便局。この前が、約1メートルぐらいの歩道があるんですが、この歩道は縁石が入っていますけども、道路と一緒に高さだもんですから、大型は入りきらんから、そこの歩道の上を乗り越して入ってくる。歩道はもう歪んでしまつとるんです。ここは通学路なんです。通学路でありながら、ガードレールもない、一番危ないところ。トラックが浜のほうから来たら、左に曲がっていくんです。左に曲がるということは、公道がそこにあるわけですから、通学路が。一番危険なところなんです。そういう状況が今までずっと来とるんですが、私も常々家の前ですから、見ていますけど、危ないんです。何とかできんかなということで、地域の地権者の人たちのいろいろ話をしまして、地権者の人たちもぜひそうしてくださいということも言われております。そういうふうに好意的に地権者の方も言われておる、そういう状況のときに、拡幅工事を何としてでもやっていただきたい。今、4メートルですから、離合するにはやっぱり最低5.5メートルぐらい要りますよ。そうするとあと1.5メートルぐらい畑のところをずっと擁壁造って、それをアスファルトにすればいいわけですから。今学童の通学路については、先ほど市長も言われましたように、川の横に張出しをしていただいて、そこが一応通学路になっているんですが、要は手前の郵便局のカーブのところ、ここが一番危ないんです。そういうことを考えますと、やはりここは、先ほども言いましたが、いろんな車が通るんです。自動車教習場の教習車、路上運転する車、これ1日に何台も通るんです。そういう運転免許を今から取ろうかという人がそこを通るわけですから、特に危ないです。そういうことも含めた中で、早くこれはしていただかんとと思うんです。状況はそういう状況ですから。

それともう一つは、入って行って右側は畑がずっとあるんですけども、その奥に嶽ノ隈神社というのがあつたわけなんです。旧幼稚園の手前。それは、ちょっと地域の人に聞いてみますと、神社庁のほうに登録はしていない神社だそうなんです。その敷地というのは、久田の自治会共有林、共有のものらしいんです。だから、あまり支障はないと思われるんです。だから、そういう条件がある中で、何としてでもここはやっていただかんと、もし子供たちの通学路でそういう事故でもあつたときに、早くからこういう問題は言っているのに、なかなかそれが進まないおかげで事故がありましたというわけにはいきません。答弁をお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この久田2号線につきましては、私もよくここはいろんな用件で入った経験もありますし、通るときに議員おっしゃられるように、ちょっと狭いなど。なかなか前から

車が来たときに、思うようにすり抜けることが難しいというように感じておりました。それと、おっしゃられるように、先には小学校や中学校、また、自動車教習場もございますし、大きな団地もございます。そういうことで、もしあそこの千葉県でしたか、八又市でしたか、小学校の子供たちが通学中に事故があったというような悲惨な事故等もあっているところでもありますので、私もここについては、職員のほうとも、今できる交付金等が2つぐらいちょっとあるみたいですから、この交付金等を何とか活用して、早い時期に着工ができるように努力してまいりたいと思っております。幸い、議員おっしゃられたように、ここに神社がございまして、最初、私もこれ神社庁に登録した神社ならなかなか難しいかなという話をしておいたら、神社庁には登録はしていないということでもありますので、そうなると、割とスムーズに行くのではないかという話を職員ともしております。そういうことで、できる限り早い時期に着工をできるように努力をしていきたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） そういうふうにはいい答弁をいただくと、時間前に私も終わられるんです。だから、あと2点ありますけども、今のような答弁の仕方で、ひとつよろしく願いをしたいと思えます。

久田2号線については、できるだけ早い時期にやるということで、御了解いただきましたので、ひとつよろしく申し上げます。

先ほど言いましたけども、嶽ノ隈神社というのは、そういうふうには説明を受けましたので、地域の人に聞きましたのでそれは、そういうことはないということですから、行政の問題では問題ないと思えますので、できるだけ早く着工できるようによろしく申し上げます。

次に、2点目の万松院なんですが、これは、私も一番気になって、何回もやるんですが、今の橋が架かる前は、あそこは石橋で太鼓橋、階段が2、3段あって、人が通るだけの橋だったんですが、旧巖原町の古い職員の方たちに聞いてみますと、あそこは、あの今の橋ができたというのは、あの道をずっと入ってきて、回るところがないと。ずっと奥まで、回るとこないんです。だからそういう関係で、あそこに橋を架けてやる、立派な橋じゃないんですけど、それを架けてやることで、万松の中の広場で回転ができるというような状況であそこは広げた。という経緯を聞いております。

それで、今見てみますと、下に鉄骨で突っ張ってありますよ。これは、万松の本堂の屋根瓦を修理をするときに、大型車両が入るということで、橋がもたんということで、そのときにあの橋の補強をしたという経緯があるんです。万松院の本堂の屋根替えについては、これは旧巖原町時代にやったんですが、国の補助もありましたが、自己負担も少しありました、あそこは。そういうふうにして、あそこを、屋根が落ちてくるのを何とか防いだんですが、やっぱりそういう状況

もありますので、先ほどは市長はいろいろな万松院を守る会とか、教育委員会とか、文化財保護委員会とか、そういうところも相談せにゃいかんだろうという話ですが、この前のそのときには、市長の答弁というのは、あれは市のものじゃないから、お寺のもんだから、我々は関係ませんという答弁をいただいた経緯がある。だから、そういうもんであれば、市がそういうこともする必要ない。しかしながら、今全体的に状況がこういう状況で来ていますので、今、用地を確保したいというような話も出ました。今、用地を確保したいというような話も出ました。その用地を私もちょっとここだろうということで、見に行ったんですが、あそこは道路が4メートルなんです。あの敷地に入ろうとすると2メートルぐらい段差がありますから、それを通らないかん。通らんと入れませんから、バスは。そうすると、バスというのは12メートルあるんですよ。4メートルの道路を行って、それから曲がろうとすると、10メートルぐらい先まで削らんと入らんわけですよ。入れません。中でぐるっと回っても、それで終わりです。そういうふうなせっかくの景観が石垣があるのに、それをわざわざ崩して、そしてそこに駐車場をつくるというようなことを考えるよりも、今私が言いました万松のその橋を架け替えるというのも1つの方法だろうと思うんです。私も2級土木施工管理技士を持ってまして、長いことこの経験をした経緯がございます。施工方法というのは私もわかるんです。あそこの橋は3メートルぐらいしかないんです、川幅。そうすると、ボックスカルバートを入れれば、そんなかからないんです。橋台をつくって、橋をつくってというとなると、結構金かける。しかし、今は国道でもボックスカルバートやりよるんです。重量物が通れますから。それでやるとそんな大きく金がかかるものじゃない。私はそう思う。それを入れてやって、なおかつ橋の欄干にある古いやつはそのまま生かしてそこにつけるとか、そういうことを考えれば、できんことは私はないと思う。それをいちいちその文化財保護委員会ですか、あるいは教育委員会、そこの万松院については私も行って話をしました、和尚さんと。それはもう構いませんということですよ。負担金が出るということについては、あまりたくさん出ると私も出し切れませんということなんですが、できるだけそういうこと、このバスの駐車場を確保せにゃいかんというような名目であれば、そういうところを少しは考えていただいて、何とかできる方法をひとつ考えてみていただきたいと思います。答弁をお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 以前、このお話はいただいて、検討したことであります。議員おっしゃられるように、あの橋は下に鉄骨がサポートとして組まれておりますことを私も確認しております。何でサポートしてあるのかというところが今議員おっしゃられるように、以前万松院の屋根替えをしたときに、橋が落ちるといけないというようなことで、安全を保つためにサポートがしてあるというようなことでありました。それで、以前も、ここの万松院の保存会やらあの周辺の歴史史跡委員会の方たちにも、将来的な構想として、どういう形がいいかということで諮問をし

たときに、まず、大型バスはできる限り万松院の中まで入れずに、歩行で、歩いて回るほうがいいのではないかとというような回答をいただいております。それと合わせまして、今回、朝鮮通信史歴史館を計画いたしましたときに、あの歴史館の裏の用地のほうがちょうど神奈川に今いらっしゃるというようなことで、ある方からこの土地を買うことはできんかというような御相談を受けました。それで、そういうことであれば、ちょっとあそこのところを買収というか、市のほうを買収させていただいて、あそこにどうしてもあの周辺駐車場が少ないですから、やはり駐車場をつくるべきではないかというようなことで計画をしたいきさつがございます。

それで、議員もおっしゃられたように、ただあそこには高さが1.5ぐらいでしょうか、畑のほう若干高いです。石積みが積んであると。その道路幅は、あそこら付近から、一部絞られているということで、確かに大型バスを入れるときには、一部やっぱり拡幅を、川のほうにも拡幅をする必要が出てくるのではないかという話はしておりますけども、石垣のほうについては、再度またきちんとした石垣を積み直して、歴史景観をきちっと守りながら、駐車場として活用をしていきたいというようなことで、今現在その所有者の方と用地の交渉をしているところであります。確かに、議員おっしゃられることはよくわかるんです。私も一応土木出身ですから、あそこはもしやり替えるときは、石橋の上の部分を外して、ボックスを入れれば、そんなにかかるとは思っていたんですけど、ただ、歴史的なある施設でありますし、景観としては、あの石橋は私はどうかして残したいなというのが私の正直な気持ちであります。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 市長、思いは一緒だと思うんです。歴史的景観を残すというのは、対馬市の最大の目的ですから、それをあそこの石垣をといて、車が回れんから、そこを拡幅をして入るようにするとか、そういうことを考えるよりも、今、あそこの先ほどそこら辺の人にお話をすると、歩いて行って、あそこで、あそこは歩いて散策をして観光していただきたいというのが本音だろうと思う。本来なら、旧巖原幼稚園跡、あそこにバスが止められたら一番いいんです。こういう苦勞もしなくていいんです。ところが、まだまだ文化庁との話が見つからないということを考えますと、来年4月にはオープンしますよという、それから今博物館の分館となった朝鮮通信史の歴史館、ここら辺も含めた中で、そこら辺をぐるっと回っていくことになると、どっかに駐車場がいるんです。だから私も何とかこれができんかなということなんです。ボックスカルバートを入れても、上だけです。下は見えませんから、上に石張りをすると、景観は保たれると思うんです。ボックスカルバート入れても。ボックスカルバートの上まで来るんじゃないから、下入れて、そしてその上にコンクリを張って、コンクリを打って橋みたいにするわけですから、だから、全くそれはボックスカルバートは見えませんから、横のほうに行ってみれば別ですが、見えませんよ。そういうことを考えますと、やっぱり、いつかはこれはやっておかにかい

んと。いつやるかですよ。先ほどいい答弁ももらいましたんで、これも続きですから、いい答弁をいただきたいと思うんですけど、市長の言われるのもわかるんだな。考え方は私も一緒なんだ。しかしながら、対馬のこの今あそこらへんずっと観光の目玉となるような、資料館とかいっぱいできますから、国指定の史跡もありますし、そういうことを考えますとどうしてもこれは、バスの駐車場要ると。文化庁がはっきりしてくれればいいですが、ある方面に私も今ちょっとそれお願いしています。けども、それがならんということになってきますと、何らかの方法を考えんと、あそこ、バスを表へ止めとって、ずっと歩いてくださいとあって、それはまちづくりの中の商店街を歩いて回って散策をして、駐車場というのは、外のほうに置いといて、まちの中を回らせるというのは、商法のやり方なんですけど、商法じゃない、観光地巡りですから。そこまでやっというも観光客の方が歩いてくれるかなというのがありますので、いろいろ考えて、私も私なりにいろいろ考えて、厳原のまちの中どうすればいいかなということを考えておって、今、市長とお話をさせていただいているんですけど、これは、何とかしてくださいよ。なんかいい返事聞けませんか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） お気持ちは私も、痛いほどよくわかります。それで、今議員おっしゃられたように、今、もともとの幼稚園跡地も、駐車場じゃなくて、一時、停車場、乗降場という形で何とかお願いをしたいということで、委員の方たちもそれに賛同していただいて、話を文化庁に上げるというようなお話までいただいておりますので、何とか、まずそちらのほうを第1点で努力してまいりたいと。最終的にそちらがだめとかいうときにはまたいろいろと次の施策を考えなくちゃいけないと思いますので、まず、こちらのほうを一義的に努力していきたいというふうに思いますので、よい答弁をしたいのはやまやまでございますけども、何とか、お願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） なかなか、いい返答は聞けませんね。やはり考え方は一緒だということで、例えばその旧厳原幼稚園跡地の問題がいい方向に行ってくれればいいですよ。しかし、今度衆議院解散となります。総理大臣も変わります。そうしますと、政治の空白っちゅうのはちょっと出てきますので、それを文化庁のほうでどういうふうに、文化庁のほうは関係ないですが、やはりそこら辺をどういうふうにされるのかということも1つ心配あります。それと今、コロナ禍の中で、そのGo Toキャンペーンも中止になっていますよね。お客さんは来ません。今のうちに、整備をするならしとかんと、お客さんが来出してから整備をしますよっちゅうわけにいかんでしょ。できるだけ早く、これをどちらかの方向でやると。

1つは、旧厳原町幼稚園の跡地が乗降場所として使えるように今お願いをしておくということ



なんですが、乗降はしますが、バスはどこに置いておくんですかと、また浜のほうに持って行って、それからまた持ってくるんですか。そういうことも含めた中で、考えにやいかんと思うんです。乗降はそこでいいでしょうが、止めておけんわけですから、バスはその間どっか持ってとかにやいかん。同じやるならそこを駐車場として使わせてくださいということなら話はわかりませんが、乗降だけをそこで許可しますということになってきますと、何にもならん。バスをどっか持ってとかにやいかん。それじゃなしに、その万松院、和尚さんとも話をさせていただいて、とにかく駐車場がないと。和尚さんどうだろうかということは、和尚さんも気持ちよく別に構いませんとバスをここに止めて、駐車させていいですよと言ってはいただきました。

そういうことも言っていたおる中で、要はあそこのとこ橋の幅が3メートル200しかない。バスは入るのは入る。いっぱいいっぱいなんです。そこで、あそこはちょっと膨らんでおるものですから、バスのけつが当たる。だから入ろうにも入っていてもお客さん積んどったら、ガタンとなるから、けつが当たるわけですから、そういうことも含めた中で、早くこれは何とか解決せにやあかんという思いがありますので、人が通りもせんところの橋がこちらにあるんだ。立派な橋ができていますよ。万松院の中入っていったら、駐車場の奥入っていったら、右側に金石城の庭園のほうから出てくるところに立派な橋がありますよ。誰も通らん橋なんだ。ところが御影石で立派なものですよ。ああいうところは、それは確かに心字池の事業費の中であれは架けられたと思うんですが、しかし、誰も通らんような橋や立派な橋を造るよりも、実質的にそこを利用するところを、しっかりと整えとかにやいかんと私は思うんですよ。何とかいい方法はありませんか。さっきまでは何かいい返事が出よったみたいですけど、何か今度は話が鈍ってきましたね。何とか検討してみてくださいよ。いい方向に行くように検討をしてみてください。答弁をお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 議員おっしゃられるように、私と議員と考え方は、行きつくところは一緒だというふうに理解はしております。ということで、先ほども申しましたように、旧巖原幼稚園跡の駐車場と申しますか、運動場は、乗降場として活用できるようにしていきたいと思います。それで、その間、バスは西の浜のほうの県の用地のほうで待機できるようにしていきたいというふうに考えております。今、もうすぐ携帯電話、スマートフォンで連絡すれば来れるんでしょから、そういう形にしていきたいと思っております。言うようにそういう方向性を持っていきたい、そこら辺がまたちょっとどうしても難しいようなときはまた再度検討を重ねていきたいというふうに思っておりますので、そういうことで御容赦お願いしたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 今市長が言われたように、それはそれで、市のほうで御苦労され

ておるわけですから、それはそれでやっていただいて、頭の真ん中ぐらいには、その万松院の橋というの頭の中に入れて、そしてこういうふうにしてやったらどうかということを考えていただきたい、このように思います。

よろしく願いしておきます。

それから、次に博物館の建設でありますけども、当初の計画からいきますと、そうそう大した大きな変わりようはないと思うんです。私が気にするのは、私がちょうど2年ほど議会を休んでいましたから、その間にいろいろあったかなというような気がしました。その折に、総務文教委員会で建設については維持管理費がかかり過ぎるということで、委員会で1回否決した経緯があります。その当時ちょうど私も文教委員会におりまして、そこら辺のいきさつはわかっているんですが、そのときからすると、先ほど市長から聞きました維持管理費というのは、大分下がってきていますね。そのときからすると大分下がってきています。今、ユネスコ記憶遺産の歴史館がその博物館の分館としてでき上りました。そちらのほうの分も含めてですか、これは。そちらは別なんですか。博物館は博物館だけなんですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず、全体経費はこれ博物館だけです。それと、先ほど答弁いたしました令和2年度の博物館ゾーンの維持管理2,700万、そして令和3年度が空調機のフィルターの交換等含めて4,700万と申し上げました。ただ、令和4年度以降については、もう少し上がってくる見込みでございます。言うように、6,000万はちょっと、当初の計画の6,000万程度よりも少し上がるんじゃないかなと。と申しますのは、当初考えられなかった特定建築物等の衛生管理とか、いろんな関係が出てきているんです。特に博物館の場合は、重要文化財とか、そういったところをずっと入れていくもんですから、もうフィルターも毎年一応最初の5年間ぐらい毎年替えんばいかん。替えるだけで、それだけでも1,000万ぐらいかかるそうなんです。ですから、当初、フィルター等も落ち着くまでは、管理費が6,000万よりもちょっと割高になってくるのではないかなということは危惧はしております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 確かに、しかし、そのために当初コンサルを入れて、設計をさせたはずなんです。維持管理費というの。それは入ったはずなんですけど、漏れているんでしょうね。そこら辺はやっぱり最初のときにそういうのもしっかり含めた中で、管理費が幾らかかるというのは、積算しとかにやいかんことですから。それと、当初と違うのは、あのときはまだまだ韓国人観光客は40万人超してきていました。旅行パックに合わせて入館料を含めた中で、維持管理費に充てるようなやつをつくりたいという話もありました。それからふるさと納税、

これについても、何とかその中から資金繰りをして、経費の負担金に持っていきたいという説明があって、そのとき、委員会では、オッケーが出たんです。ところがその後、それはそういうふうにやっていくようになっているんですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この維持管理の経費、そしてまた運営費、関係含めまして、やはりこのふるさと納税の一部をこちらのほうでも活用させていただきたいというふうなことで進めてもおりますし、今後、旅行会社等が集まるイベント等とか、そうしたところにも今からどんどん参加をいたしまして、この博物館のPRをしていくことを計画しております。確かに想定外のこととはいえ、韓国人観光客の激減等で厳しいという現実は感じておりますけども、できる限りの誘客に努めていきたいというふうに思っております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 韓国人が来ないということで、大分旅行パックの設定をしとったやつが崩れてくると思うんですよ。しかし、それに見合うようなこともやっぱりしっかり考えていかんと思います。Go Toキャンペーン始まる頃になってきますと、そういう営業して、旅行会社にもそういうふうな旅行パックでやっていただくと、それともう一つはふるさと納税、もう少し頑張ってください、そこのほうからでも、少しでも入れてくる、そうしないと、維持管理費というのは、国からの補助金出ませんよね。全部生財源ですよ。生財源を出していくということになってくると、財政圧迫してきますので、そこら辺のやりくりは、あなたたちが上手でしょうから、それをやっぱり議会のほうは議会のほうでしっかりと質さにやいかん立場に我々はおりますので、そこら辺はしっかりと、経費が上がったにしても、そこら辺から持ってきて、これをやっていきますということをしっかり言えるような体制づくりをやっていただきたいと思えます。ふるさと納税、もうちょっと頑張らにやいかんです。今1億2,000万ぐらいですか。（「2億8,000万」と呼ぶ者あり）2億8,000万、そうですか。頑張っていますね。もう少し頑張りましょうよ。もう少し頑張って、せつかくそれもでき上った今度はユネスコ記憶遺産の歴史館、これ、どこが管理すると言いましたかね。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、村井英哉君。

○観光交流商工部長（村井 英哉君） お答えいたします。

我々観光交流商工部の中の文化交流課のほうで、今、10月30日の開館に向けていろいろ準備を進めております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） こういう博物館とか資料館というのは、温度管理が大変なんです。温度管理をしっかりとかんとカビが生えたりしますもんで、そこら辺に経費がたくさんかかってくると思うんです。これは分館のほうにしても、博物館のほうにしても、それが大きな金がかかってくると思うんです。やっぱりそれをそのまま市民の税金で使っていきますよというわけにもいきませんので、あなたたちが努力をして、この分については、こういうところから捻出していきながら、フォローしていきますというぐらいの腹づもりでおっておかんと、財政圧迫していきます。これどこに視察に行っても、博物館はどれも赤字なんです。みんなそこで苦労していますよ。我々2、3か所行きましたけど、みんな苦労しています。だからそれをどっかで補うためには、そういう努力をしていただかんと、長く続かんでほったらかすわけにはいきませんから、赤字をしてでも維持管理はせにやいかんわけですから、そこら辺しっかり腹に据えて、やっていただきたいと、このように思います。時間来ましたんで、終わります。よろしく願います。終わります。

○議長（初村 久藏君） これで、船越洋一君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩いたします。再開は、3時5分からといたします。（発言する者あり）午後3時5分から。

午後2時52分休憩

午後3時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き市政一般質問を行います。16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 16番、対政会、大浦でございます。本日の一般質問最後ということでございますが、3点上げとった中で、3点目の湯多里ランド、このことについて質問の内容と提出された資料の内容がかみ合わないということで、本日はその質問を取り下げます。したがって、2点でいきますので、早めに終わろうかと思えます。

私は、今年度の改選市議会のその折に、比田勝港の国内ターミナルの運営、ここの九州郵船のうみてらしが、7月1日からいわゆる新規に出船があるという情報の下に、その北部の住民の皆様の声が、「非常に出航時間が、博多に行く時間が非常に遅いではないか」と、「晩の9時前後に船が到着し、それからほとんど用を済ませることができない」、このような声があつて、この「7月1日からスタートする前に、市に、あるいは九州郵船に対して物を申したい」、このようなお方が数人おられました。

それで、この6月にそのことを上げてみようかなと思ったんですが、地元の皆様がおる中で、